

甲 第 号

長谷川 英雄 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	浅田 秀夫
論文審査担当者	委員	講師	重松 英樹
	委員(指導教員)	教授	面川 庄平

主論文

Vascularized Pedicled Bone Graft From the Distal Radius Supplied by the Anterior Interosseous Artery for Treatment of Ulnar Shaft Nonunion: An Anatomical Study of Cadavers and a Case Report

尺骨偽関節に対する前骨間動脈を血管茎とした橈骨遠位からの有茎血管柄付き骨移植：
解剖学的研究と症例報告

Hideo Hasegawa, Takamasa Shimizu, Shohei Omokawa, Kenji Kawamura, Kanit

Sananpanich, Pasuk Mahakkanukrauh, Yasuhito Tanaka

Microsurgery 2020 May ;40(4):479-485.

論文審査の要旨

血管柄付き橈骨移植術は、難治性尺骨偽関節治療において有用な術式と考えられるが、その解剖学的詳細は明らかにされていない。そこで橈骨遠位背側部を栄養する前骨間動脈分枝の解剖学的調査と臨床応用を報告した。14 肢の新鮮凍結屍体を使用し、前骨間動脈分枝の分岐部位、前骨間動脈と後骨間神経の運動枝の間の解剖学的関係を調べた。前骨間動脈に栄養される有茎橈骨移植を用いて、48 歳女性の難治性尺骨偽関節を治療した。その結果、前骨間動脈の橈骨栄養枝が後骨間神経の終末運動枝から遠位または近位に分岐したかどうかで、2 グループに分類できた。遠位型では、尺骨頭の遠位端から平均 10.5 cm まで有茎移植骨が到達でき、近位型では 17.5 cm まで到達することができた。臨床症例では良好な臨床成績を得ることができたと報告した。本研究結果は、難治性尺骨偽関節治療に対して有益な所見であり、今後本領域のさらなる研究発展に寄与するものと評価される。公聴会の質疑では、術前に血管の評価が可能か、移植骨挙上の詳細について質問がなされたが、的確な回答が得られた。

参 考 論 文

1. 強剛母指に対する超音波ガイド下手術
中尾哲子、仲西康顕、長谷川英雄、面川庄平、田中康仁
日本整形外科超音波学会会誌 31 巻 1 号 Page182-186(2020.03)
2. 橈骨遠位端骨折における遊離陥没骨片と掌側縁骨片の単純 X 線診断精度
大西正展、面川庄平、井川真依子、長嶋光幸、長谷川英雄、田中康仁
日本手外科学会雑誌 36 巻 4 号 Page426-428(2020.01)
3. 変形性遠位橈尺関節症に対する Hemiresection interposition arthroplasty 変法
の手術成績
長谷川英雄、面川庄平、清水隆昌、飯田昭夫、田中康仁
日本手外科学会雑誌 36 巻 3 号 Page271-274(2019.12)
4. 大菱形骨切除を併用する母指 CM 関節形成術における生体力学的研究
北條潤也、面川庄平、速水直生、吉良務、長谷川英雄、田中康仁
日本手外科学会雑誌 35 巻 3 号 Page455-458(2018.12)
5. Magnetic resonance imaging analysis of the extensor carpi ulnaris tendon and
distal radioulnar joint in triangular fibro cartilage complex tears
Santo S, Omokawa S, Iida A, Shimizu T, Hasegawa H, Tanaka Y.
J Orthop Sci. 2018 Nov;23(6):953-958
6. 尺骨偽関節に対して前骨間動脈を血管茎とした橈骨からの有茎血管柄付

き骨移植を施行した 1 例

長谷川英雄、清水隆昌、面川庄平、山藤滋、吉田淳、田中康仁

日本マイクロサージャリー学会会誌 31 巻 3 号 Page171-176(2018.09)

7. 母指 CM 関節症の病期分類とそれに基づいた治療法の選択

長谷川英雄 面川庄平

Orthopaedics 31 巻 1 号 Page11-18(2018.01)

8. Free Peroneal Artery Perforator-Based Flap for Soft Tissue Reconstruction of the Finger

Kawamura K, Yajima H, Omokawa S, Shimizu T, Hayashi S, Maegawa N, Nakanishi Y, Kira T, Onishi T, Hayami N, Hasegawa H, Tanaka Y.

J REconst Microsurg Open. 2017 2: e136-e139

9. Importance of anterior humeral line for successful anatomical reduction in the surgical treatment of pediatric supracondylar humeral fractures

Shimizu T, Yoshida A, Omokawa S, Onishi T, Kira T, Santo S, Haegawa H Kawamura K, Tanaka Y.

J Orthop. 2017 Jun 14(3):358-362.

10. 鎖骨骨幹部骨折に肩鎖関節脱臼を合併した一例

長谷川英雄、吉田淳、山藤滋、内原好信、田中康仁

骨折 38 巻 2 号 Page310-313(2016.04)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和2年9月8日

学位審査委員長

皮膚病態医学

教授 浅田 秀夫

学位審査委員

運動器再建医学

教授 重松 英樹

学位審査委員(指導教員)

運動器再建医学

教授 面川 庄平